

青空の下で買い物楽しむ

春の風物詩花泉互市開催

春の花泉互市は駅前中央通り商店街の歩行者天国で4月1日から3日まで催され、晴天の中、店主との掛け合いで買い物を楽しむ人々にぎわいました。春の鉢花や野菜の苗、竹細工、かまやくわなどの農具、地場産の野菜など、500mの通りに約110の出店が立ち並びました。春休みとあって親子連れ、小中学生も多く、おもちゃのくじ引きやわたあめなどで楽しんでいました。

市内滝沢から来たという夫婦は、「互市は苗が新鮮だね」「70歳だけど今年はいちごを買い、畑仕事を頑張ろうと思ってね」と値段を交渉しながら、ぴかぴかのくわを買い求めていました。



「新鮮な苗だよ」の一声に人垣。次々と売れていました

地域の力で市道整備実施

「たまご湯」進入路を舗装

地元の鉱泉を活用し「たまご湯」を運営する千厩町第10区自治会（遠藤敏男会長、65世帯）は3月25日、会員の労力奉仕で同鉱泉の進入路となっている市道約90mのコンクリート舗装工事を行いました。

23日から始まった作業には連日約30人の会員が集まり、市から支給された原材料を活用し、スコップや重機を使って路盤の整地、砂利敷き、型枠の設置などの作業を行いました。25日には、県南生コン業協同組合の指導を受けながら、丁寧にコンクリート舗装を行い、念願の進入路が完成しました。



市が原材料提供、住民が労力奉仕を行い舗装された進入路



プロの手つきを間近で見ながら大福づくりに挑戦

イチゴはみんなの人気者

グリーンツーリズム事業

道の駅かわさき主催のグリーンツーリズム事業「イチゴ狩りとイチゴ大福作り体験」は、ぽかぽかの陽気に恵まれた3月30日、川崎町内の観光農園などを会場に催され、市内外から延べ107人が参加しました。

イチゴ大福作り体験は、町内で菓子店を営む滝澤慶祐さんが講師となり、25人が挑戦。「あんこ皮のバランスが大事。もちに砂糖を混ぜると硬くなりやすい。イチゴが酸化するのでその日に食べる」となど、おいしい菓子づくりのこつを伝授された参加者たちは、大粒のイチゴをあんで包んだあん玉をつきたてのもちでくるみ、甘い香り漂うほんのり桜色の大福を作り上げました。



手作りの紙芝居のため池の大切さを訴える千厩高美術部員

水利施設の大切さ伝える

農業農村紙芝居の上演会

県千厩農林センターと室根土地改良区は3月26日、室根町の「有切百間堤」改修工事の終了をきっかけに、農業水利施設を築いた先人の苦労を伝え、施設への関心を高めてもらおうと、室根公民館で農業農村紙芝居上演会を催しました。

千厩高美術部1年生6人による「室根のため池物語」と同土地改良区による「作太郎堤」の2作品を上演。同校美術部は原画作成やストーリー構成も行い、町内の小学生約20人を前に紙芝居を読み上げました。

手作りの紙芝居に子どもたちはじっくり見入り、上演した美術部員も満足そうな様子でした。



かれんに咲くミズバショウを眺め、写真に納めるなどする参加者

大きな声で左右を確認！

長坂小学校交通安全教室

長坂小学校（千葉喜代一校長、児童222人）の春の交通安全教室は4月16日、校庭と周辺道路で全校生徒が参加して行われました。長坂駐在所小山所長と地域の交通指導員が指導。低学年は校庭内に作られた交差点で横断歩道の正しい渡り方を学んだ後、道路で実際に渡る練習をしました。高学年は、自転車の乗り方を中心に練習しました。

最初のうちは緊張した面持ちだった新1年生も、上級生のお兄さん、お姉さんと一緒になって横断歩道の渡り方を練習。「右を見て、左を見て、信号を見て」と大きな声を出していました。



校庭内に作られた交差点で道路の渡り方を練習しました

まちのトピック

地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

in Ichinoseki

山の春告げる純白の花々

厳美でミズバショウ観察

いちのせき健康の森が主催するミズバショウ・キクザキイチゴ探勝会は4月6日、厳美町の国有林内で行われ、45人の参加者が、雪解け水が流れる湿地に清らかに咲くミズバショウを楽しみました。

今年は例年より少し雪解けが早く、この日の花はちょうど見ごろ。ミズバショウはサトイモ科で、花びらのように見える白い部分は葉が変化した仏炎苞と呼ばれる部分です。花のころには約20cmの草丈ですが、夏には1m以上に成長します。友人と参加したという佐々木知子さん＝三関＝は「初めて参加しましたが、時期もちょうど良くて美しい花を楽しめました」とにこやかに感想を話しました。



うれしそうに本を手にする子どもたち

本の魅力に引き込まれて

県立図書館巡回展が開催

国内外の優れた作品を集めた県立図書館巡回展は4月4日から13日まで、大東図書館で催され、来館者らに本の魅力を紹介しました。県内14館を巡って行われ、市内では6月に花泉図書館でも催されます。

展示されたのは、18年以降に国内外で児童文学賞を受賞した、個性豊かな絵本や児童書71冊。普段から図書館を利用しているという児童らは「読んでみたい本がたくさんあった」と喜びながら、思い思いに本を取り、力強い絵や写真、魅力的な物語にみるみる引き込まれていました。